

【添付書類】

1 法人にあってはその登記事項証明書

別添のとおり

2 主として販売する物品の種類

小売業を行う者の氏名(名称)		主として販売する物品の種類
1	未定	食料品、日用品 等

3 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面

別添「図面 2 周辺見取図」、「図面 3 建物配置図及び 1 階平面図」のとおり

4 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠

【指針により算出する場合】

	事 項 等	必要駐車台数等	各事項算出のための計算式等
店舗の来客者	地区の区分	その他地区	用途地域:工業地域
	S:店舗面積	1,502 千㎡	1,502 千㎡/1,000
	A:店舗面積当たり 日來客数原単位	1,054.94 人/千㎡	40 万人未満&5,000 ㎡未満 (行政人口:245,967 人/令和 7 年 7 月 1 日現在、 住民基本台帳より)=1100-30S
	B:ピーク率	14.4%	指針の基準値
	L:駅からの距離	630m	(駅名:小田急江ノ島線 鶴間駅)
	C:自動車分担率	70%	人口 10~40 万人&その他地区の場合の値 = 駅からの距離に関わらず 70
	D:平均乗車人員	2.0 人/台	店舗面積 10,000 ㎡未満の場合の値 =2.0(固定値)
	E:平均駐車時間係数	0.6377	店舗面積 10,000 ㎡未満の場合の値 =(30+5.5*S)/60
	F:必要駐車台数	51 台	$A \times S \times B \times C \div D \times E$ (四捨五入)
利用者の その他の施設等の	従業員通勤車両用	0 台	公共交通機関利用
	業務用車両用	0 台	なし
	搬出入車両用	0 台	別途、荷さばき施設を確保
	併設施設の車両用	0 台	併設施設はありません
	その他	0 台	なし
	G:その他の施設等 必要駐車台数計	0 台	
必要駐車台数合計		51 台	F+G
届出収容台数合計		51 台	

5 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

(1) 年間の平均的な休祭日のピーク1時間に予想される来客者等の自動車の方向別台数の算出

項目		予測来台数(台)	予測来台数の算出根拠
店舗の来客車両		80 台	別添資料-1「大規模小売店舗立地法手続きに係る交差点処理計画(仮称)大和市下鶴間貸店舗新築工事 p.13 <1>ピーク時来台数及び必要駐車台数」参照
利用者 その他の施設等の	従業員通勤車両	0	公共交通機関利用
	業務用車両	0	なし
	搬出入車両	0	別途、荷さばき施設を確保
	併設施設の車両	0	なし
	その他	0	なし
予測来台数合計		80 台	—
入口 駐車場	入口	80 台	別添資料-1「大規模小売店舗立地法手続きに係る交差点処理計画(仮称)大和市下鶴間貸店舗新築工事 p.5」参照
	予測来台数合計	80 台	—

(2) 駐車場の自動車の入口の形式

①年間の平均的な休祭日のピーク1時間における駐車場の入口の入庫処理能力

駐車場入口	予測来台数 (台)	入庫処理能力 (台/h)	入庫処理能力算出のための計算式等
入口	80 台	450	$3,600(\text{秒}) \div 8(\text{秒/台}) = 450 (\text{台/h})$
合計	80 台	—	—

※駐車場入庫ゲートは設置ませんが、指針の参考値で示されている、処理能力8秒/台を適用しました。

②敷地内駐車待ちスペース

駐車場入口	駐車待ちスペース (m)	必要な駐車待ちスペース	
		長さ(m)	算出根拠
入口	89	0	$[(80 \div 60) \times 1.6 - (450 \div 60)] \times 6 = -32.2$

6 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

項目	具体的な内容
自動車の案内経路	※別添資料-1『大規模小売店舗立地法手続きに係る交差点処理計画(仮称)大和市下鶴間貸店舗新築工事』別紙 来退店経路図のとおり
自動車の案内方法	
看板等の設置	設置場所:図面 3 建物配置図及び1階平面図のとおり 方式等:駐車場出入口に駐車場出入口及び右折禁止看板等を設置し、左折入出庫の誘導案内を行います。出口には、路面表示による左折出庫の誘導案内を行います。
交通整理員の配置	配置場所:図面 3 建物配置図及び1階平面図のとおり 人数・配置日時等:オープン時や繁忙期に適宜配置
チラシ等の配布	配布方法:チラシやホームページ等に掲載いたします。 内容等:右折入庫禁止の文言を掲載予定
その他	—

7 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

搬出入時間帯	荷さばき 車両	廃棄物収集 車両	合計 (台)	平均的な荷さばき 処理時間(分)	延べ荷さばき 処理時間(分)
	4t (台)	2t 車 (台)			
6 時台	3	0	3	荷さばき車両 4t=15 分 廃棄物収集車両 =10 分	45
7 時台	2	0	2		30
8 時台	1	0	1		15
9 時台	2	0	2		30
10 時台	1	1	2		25
11 時台	2	0	2		30
12 時台	1	1	2		25
13 時台	1	1	2		25
14 時台	2	0	2		30
15 時台	1	0	1		15
16 時台	2	0	2		30
17 時台	1	1	2		25
18 時台	0	1	1		10
19 時台	1	0	1		15
20 時台	0	0	0		0
21 時台	1	0	1		15
22 時台	0	0	0		0
合計	21	5	26		-

8 遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面
該当ありません。

9 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼働時間帯及び位置を示す図面

項目	音源名称	稼働時間帯		位置
冷凍機室外機	冷凍機室外機 01	0:00	24:00	別添資料-2「大規模小売店舗立地法手続きに係る騒音予測（仮称）大和市下鶴間貸店舗新築工事」 「騒音源及び予測地点配置図」 (p. 15・p. 16)
	冷凍機室外機 02	00:00	24:00	
	冷凍機室外機 03	00:00	24:00	
	冷凍機室外機 04	00:00	24:00	
	冷凍機室外機 05	00:00	24:00	
	冷凍機室外機 06	00:00	24:00	
	冷凍機室外機 07	00:00	24:00	
	冷凍機室外機 08	00:00	24:00	
キュービクル	キュービクル 01	00:00	24:00	
空調機室外機	空調機室外機 01	06:30	23:00	
	空調機室外機 02	06:30	23:00	
	空調機室外機 03	06:30	23:00	
	空調機室外機 04	06:30	23:00	
	空調機室外機 05	06:30	23:00	
	空調機室外機 06	06:30	23:00	
	空調機室外機 07	06:30	23:00	
	空調機室外機 08	06:30	23:00	
	空調機室外機 09	06:30	23:00	
	空調機室外機 10	06:30	23:00	
	空調機室外機 11	06:30	23:00	
排気口	排気口 01	06:30	23:00	
	排気口 02	06:30	23:00	
	排気口 03	06:30	23:00	
	排気口 04	06:30	23:00	
	排気口 05	06:30	23:00	
	排気口 06	06:30	23:00	
	排気口 07	06:30	23:00	
	排気口 08	06:30	23:00	
	排気口 09	06:30	23:00	
	排気口 10	06:30	23:00	
	排気口 11	06:30	23:00	
	排気口 12	06:30	23:00	
	排気口 13	06:30	23:00	
	排気口 14	06:30	23:00	
	排気口 15	06:30	23:00	
	排気口 16	06:30	23:00	
	排気口 17	06:30	23:00	
	排気口 18	06:30	23:00	
	排気口 19	06:30	23:00	
	排気口 20	06:30	23:00	
	排気口 21	06:30	23:00	
	排気口 22	06:30	23:00	
給気口	給気口 01	06:30	23:00	
	給気口 02	06:30	23:00	
	給気口 03	06:30	23:00	
	給気口 04	06:30	23:00	
	給気口 05	06:30	23:00	
	給気口 06	06:30	23:00	
	給気口 07	06:30	23:00	
	給気口 08	06:30	23:00	

10 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

(1)等価騒音レベルの予測の結果

時間の区分	予測地点			予測と評価	
	位置	高さ(m)	用途地域	予測値(dB)	基準値(dB)
昼間 [午前6時～午後10時]	A	1.2	工業地域	56.6	60
	B	13.2	工業地域	50.9	60
	C	16.2	工業地域	58.8	60
	D	1.2	工業地域	41.3	60
	E	1.2	工業地域	45.2	60
夜間 [午後10時～午前6時]	A	1.2	工業地域	47.7	50
	B	13.2	工業地域	42.0	50
	C	16.2	工業地域	50.0	50
	D	1.2	工業地域	32.9	50
	E	1.2	工業地域	37.4	50

※予測地点の位置については別添資料-2「大規模小売店舗立地法手続きに係る騒音予測（仮称）大和市下鶴間貸店舗新築工事」騒音源及び予測地点配置図(p.15・p.16)のとおり

<評価>

昼間・夜間ともにすべての予測地点において環境基準値を下回ります。

静穏に努めて運用してまいります。近隣の方々より騒音に関するご意見を頂いた場合には、状況を確認し適切に対応いたします。

(2)等価騒音レベルの予測の算出根拠

別添資料-2「大規模小売店舗立地法手続きに係る騒音予測（仮称）大和市下鶴間貸店舗新築工事」参照

- 11 夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

(1) 騒音発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測結果

【店舗敷地境界】

騒音発生源		基準距離 における 騒音レベル (Lpi)【dB】	予測地点			予測と評価	
			位置	高さ 【m】	用途地域	予測値 【dB】	基準値 【dB】
定常騒音	冷凍機室外機 01	57.0	冷 01	7.4	工業地域	40.0	55
	冷凍機室外機 02	65.0	冷 02	7.4	工業地域	44.8	55
	冷凍機室外機 03	62.0	冷 03	7.4	工業地域	39.5	55
	冷凍機室外機 04	65.0	冷 04	7.4	工業地域	40.7	55
	冷凍機室外機 05	63.0	冷 05	7.7	工業地域	42.9	55
	冷凍機室外機 06	65.5	冷 06	7.6	工業地域	48.9	55
	冷凍機室外機 07	63.5	冷 07	7.7	工業地域	43.4	55
	冷凍機室外機 08	63.5	冷 08	7.7	工業地域	48.8	55
	キュービクル 01	50.5	キュー 01	8.0	工業地域	34.2	55
冷凍機室外機 01～04 合成値			P1	7.4	工業地域	48.8	55
冷凍機室外機 05-08・キュービクル 01 合成値			P2	7.7	工業地域	52.1	55

※予測地点の位置については、別添資料-2「大規模小売店舗立地法手続きに係る騒音予測（仮称）大和市下鶴間貸店舗新築工事」騒音源及び予測地点配置図(p.15・p.16)のとおり

<評価>

夜間に稼働する定常騒音は規制基準値を下回ります。

静穏に努めて運用してまいります。近隣の方々より騒音に関するご意見を頂いた場合には、状況を確認し適切に対応いたします。

(2) 騒音発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の算出根拠

別添資料-2「大規模小売店舗立地法手続きに係る騒音予測（仮称）大和市下鶴間貸店舗新築工事」参照

12 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及び
その算出根拠

【指針により算出する場合】

	算 出 根 拠 等						必要 保管容量
店 舗	廃棄物 種別	S:店 舗 面 積		A:1日当たりの 廃棄物等の排出 予測量(指針原 単位×S)	B:平均 保管日数	C:見か け比重 (t／m³)	A×B÷C(m³)
	紙製廃棄物等	6000 m²以下の部分	1.502 千m²	0.312416t	1.00 日	0.10	3.1242
		6000 m²超の部分	0 千m²	0t			
				計 0.312416t			
	金属製 廃棄物等	6000 m²以下の部分	1.502 千m²	0.010514t	1.00 日	0.10	0.1051
		6000 m²超の部分	0 千m²	0t			
				計 0.010514t			
	ガラス製 廃棄物等	6000 m²以下の部分	1.502 千m²	0.009012t	1.00 日	0.10	0.0901
		6000 m²超の部分	0 千m²	0t			
				計 0.009012t			
	プラスチック製 廃棄物等	6000 m²以下の部分	1.502 千m²	0.030040t	1.00 日	0.01	3.0040
		6000 m²超の部分	0 千m²	0t			
				計 0.030040t			
	生ごみ等	6000 m²以下の部分	1.502 千m²	0.253838t	1.00 日	0.55	0.4615
		6000 m²超の部分	0 千m²	0t			
				計 0.253838t			
その他の 可燃性廃棄物等	-	1.502 千m²	0.081108t	1.00 日	0.38	0.2134	
リサイクル関連	算出根拠						必要 保管容量
	対象なし						-
D:小売店舗必要保管容量計							7.00
そ の 他 の 施 設 等	施設	算出根拠					必要 保管容量
	-	-					-
	E:その他の施設等必要保管容量計						-
必要保管容量合計(D+E)							7.00
届出保管容量合計							36.33